



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月11日

上場取引所 東大

上場会社名 エスフーズ株式会社
コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 安岡 信幸

TEL 0798-43-1065

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	95,306	8.3	3,102	△24.1	3,258	△22.4	1,621	△4.3
22年2月期第3四半期	87,988	—	4,088	—	4,198	—	1,695	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	57.90	—
22年2月期第3四半期	56.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	60,226	33,349	50.1	1,077.24
22年2月期	56,609	32,965	52.5	1,060.21

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 30,173百万円 22年2月期 29,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	11.00	—	11.00	22.00
23年2月期	—	12.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	5.0	4,500	△19.7	4,700	△18.2	2,300	△17.7	82.11

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期3Q 32,267,721株 22年2月期 32,267,721株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 4,257,518株 22年2月期 4,257,245株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期3Q 28,010,333株 22年2月期3Q 29,860,322株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、政策効果による一部国内消費の押し上げが見られましたが、円高の長期化による企業業績の下ぶれ懸念や社会不安による消費減退により全体としては厳しい状況が続きました。

当食肉業界におきましても、少子高齢化による消費の減少やデフレ圧力による価格下落などにより、市場規模が縮小しつつあります。

このような経営環境のもと、当社グループは、地道な営業努力によるシェア拡大と経営管理体制の強化、グループ企業間のシナジー効果の発揮により、堅実な経営体質の構築を目指して企業活動を進めて参りました。

食肉の[卸売事業]においては、平成22年9月に当社最大級の処理能力を持つ新たな東京営業所（関東ミートセンター）を開設し、首都圏での販売強化に取り組みました。[製品事業]においては、「こてっちゃん牛もつ鍋」に新たに「辛みそ味」をラインアップに加えるなど、秋冬製品の充実を図りました。[小売・外食事業]においては、組織や設備の統合などのコスト削減や不採算店の積極的閉店、大型店への新規出店、店舗改装による経営強化を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高953億6百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益31億2百万円（前年同期比24.1%減）、経常利益32億5千8百万円（前年同期比22.4%減）、四半期純利益16億2千1百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

事業別の売上高は、[卸売事業]が545億4千1百万円（前年同期比20.6%増）、[製品事業]が229億5千1百万円（前年同期比3.3%減）、[小売・外食事業]が174億9千4百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は、「日本」は売上高937億2千9百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益30億5千5百万円（前年同期比19.4%減）、また、「アメリカ合衆国」は売上高26億8百万円（前年同期比8.7%減）、営業利益7千7百万円（前年同期比75.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて36億1千6百万円増加し、602億2千6百万円となりました。これは主に、営業活動によるキャッシュ・フロー支出などで預金が減少したこと、季節変動に伴い売上債権が増加したこと、年末の需要期を迎え、たな卸資産が増加したこと及び新たな東京営業所の建設により有形固定資産が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて32億3千2百万円増加し、268億7千6百万円となりました。これは主に、年末の需要期を迎え仕入債務が増加したこと及び借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3億8千4百万円増加し、333億4千9百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少3億9千8百万円に対し、利益剰余金の増加9億8千8百万円が上回ったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ12億4千9百万円減少し、101億6千1百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは3億6千1百万円の支出（前第3四半期連結累計期間は20億2千6

百万円の収入)で、主な増加要因は税金等調整前四半期純利益30億3千5百万円、減価償却費9億4千4百万円、仕入債務の増加22億4千7百万円であります。一方、主な減少要因は売上債権の増加22億2千4百万円、たな卸資産の増加26億2千8百万円、法人税等の支払額23億6千7百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは16億5千4百万円の支出(前第3四半期連結累計期間は26億8千3百万円の支出)で、支出の主なもの是有形固定資産の取得による支出13億9百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出3億5千4百万円及び事業譲受による支出2億9千4百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは7億8千5百万円の収入(前第3四半期連結累計期間は14億9千1百万円の収入)で、収入の主なものは短期借入金の純増額11億5千7百万円及び長期借入れによる収入11億7千3百万円であります。一方、支出の主なものは長期借入金の返済による支出6億3千万円及び配当金の支払額6億3千9百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成22年10月12日発表いたしました内容に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（四半期連結損益計算書関係）

前第3四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に一括表示しておりました「賞与引当金戻入額」（前第3四半期連結累計期間4,190千円）は、特別利益の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記しております。

前第3四半期連結会計期間において、特別損失の「その他」に一括表示しておりました「店舗閉鎖損失」（前第3四半期連結会計期間2,085千円）は、特別損失の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結会計期間より区分掲記しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,386,651	12,926,947
受取手形及び売掛金	13,619,960	11,437,020
有価証券	101,120	—
商品及び製品	7,421,424	4,919,343
仕掛品	1,363,190	1,349,010
原材料及び貯蔵品	800,442	563,240
その他	1,343,083	1,203,712
貸倒引当金	△160,765	△155,972
流動資産合計	35,875,105	32,243,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,647,708	12,860,496
減価償却累計額	△7,629,776	△7,427,244
建物及び構築物（純額）	6,017,932	5,433,252
土地	7,671,258	7,350,302
その他	11,216,262	10,618,881
減価償却累計額	△8,552,547	△8,265,110
その他（純額）	2,663,714	2,353,770
減損損失累計額	△598,377	△631,319
有形固定資産合計	15,754,528	14,506,006
無形固定資産		
のれん	627,977	956,724
その他	153,714	154,736
無形固定資産合計	781,692	1,111,460
投資その他の資産		
投資有価証券	4,480,683	5,216,669
その他	3,523,729	3,767,231
貸倒引当金	△189,149	△234,724
投資その他の資産合計	7,815,264	8,749,176
固定資産合計	24,351,485	24,366,643
資産合計	60,226,590	56,609,945

（単位：千円）

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,670,724	7,437,380
短期借入金	4,380,000	3,223,000
未払法人税等	395,668	1,210,467
賞与引当金	916,525	580,049
その他	3,439,502	3,211,945
流動負債合計	18,802,420	15,662,843
固定負債		
社債	900,000	1,050,000
長期借入金	4,738,201	4,431,893
退職給付引当金	627,198	570,302
役員退職慰労引当金	150,135	349,457
その他	1,658,815	1,580,081
固定負債合計	8,074,350	7,981,734
負債合計	26,876,771	23,644,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298,354	4,298,354
資本剰余金	11,952,554	11,952,550
利益剰余金	18,631,549	17,643,316
自己株式	△2,984,394	△2,984,190
株主資本合計	31,898,064	30,910,030
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,338,596	△939,841
繰延ヘッジ損益	△2,733	△12,797
為替換算調整勘定	△383,099	△260,367
評価・換算差額等合計	△1,724,429	△1,213,006
少数株主持分	3,176,185	3,268,343
純資産合計	33,349,819	32,965,367
負債純資産合計	60,226,590	56,609,945

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	87,988,594	95,306,571
売上原価	70,628,119	78,918,700
売上総利益	17,360,475	16,387,871
販売費及び一般管理費	13,271,923	13,284,946
営業利益	4,088,551	3,102,924
営業外収益		
受取利息	13,077	20,438
受取配当金	43,968	44,800
負ののれん償却額	38,699	42,072
その他	206,394	229,951
営業外収益合計	302,140	337,263
営業外費用		
支払利息	72,957	83,076
持分法による投資損失	—	41,837
その他	119,678	56,995
営業外費用合計	192,635	181,910
経常利益	4,198,056	3,258,277
特別利益		
貸倒引当金戻入額	36,590	15,460
関係会社株式売却益	—	9,425
賞与引当金戻入額	—	12,074
その他	31,600	4,734
特別利益合計	68,190	41,693
特別損失		
固定資産処分損	42,318	55,843
減損損失	422,549	33,053
投資有価証券売却損	40,473	15,590
投資有価証券評価損	126,811	83,723
店舗閉鎖損失	24,424	57,629
その他	16,421	18,560
特別損失合計	672,997	264,400
税金等調整前四半期純利益	3,593,248	3,035,571
法人税等	1,727,148	1,407,206
少数株主利益	171,007	6,557
四半期純利益	1,695,092	1,621,806

【第3四半期連結会計期間】

（単位：千円）

	前第3四半期連結会計期間 （自平成21年9月1日 至平成21年11月30日）	当第3四半期連結会計期間 （自平成22年9月1日 至平成22年11月30日）
売上高	28,918,855	32,486,581
売上原価	23,239,533	27,056,183
売上総利益	5,679,321	5,430,397
販売費及び一般管理費	4,525,104	4,365,035
営業利益	1,154,217	1,065,361
営業外収益		
受取利息	4,004	11,309
受取配当金	1,082	1,155
負ののれん償却額	14,397	14,024
その他	58,055	59,564
営業外収益合計	77,540	86,054
営業外費用		
支払利息	28,339	28,927
有価証券償還損	12,604	—
持分法による投資損失	—	41,583
その他	13,603	5,046
営業外費用合計	54,547	75,557
経常利益	1,177,209	1,075,857
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,008	1,553
受取補償金	—	1,577
その他	6,440	151
特別利益合計	10,448	3,281
特別損失		
固定資産処分損	4,810	4,527
投資有価証券売却損	36,957	—
投資有価証券評価損	126,811	9,502
店舗閉鎖損失	—	21,592
その他	11,460	3,106
特別損失合計	180,039	38,728
税金等調整前四半期純利益	1,007,618	1,040,411
法人税等	483,747	476,117
少数株主利益又は少数株主損失（△）	54,412	△15,523
四半期純利益	469,459	579,816

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,593,248	3,035,571
減価償却費	870,101	944,972
減損損失	422,549	33,053
のれん償却額	476,028	339,207
負ののれん償却額	△38,699	△42,072
投資有価証券評価損益（△は益）	126,811	83,723
賞与引当金の増減額（△は減少）	343,287	339,650
受取利息及び受取配当金	△57,046	△65,239
売上債権の増減額（△は増加）	230,926	△2,224,166
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,008,867	△2,628,566
仕入債務の増減額（△は減少）	814,753	2,247,216
その他	△74,904	△28,268
小計	4,698,190	2,035,081
利息及び配当金の受取額	52,707	61,190
利息の支払額	△66,717	△90,308
法人税等の支払額	△2,657,991	△2,367,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,026,189	△361,710
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,043,729	△1,309,423
無形固定資産の取得による支出	△35,676	△36,914
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△354,093
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	296,239	—
事業譲受による支出	—	△294,957
短期貸付けによる支出	△600,000	△53,000
その他	△300,307	393,934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,683,473	△1,654,454
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△256,070	1,157,000
長期借入れによる収入	4,404,900	1,173,000
長期借入金の返済による支出	△394,522	△630,323
社債の発行による収入	1,500,000	—
自己株式の取得による支出	△2,942,902	△369
配当金の支払額	△657,902	△639,864
少数株主への配当金の支払額	△65,687	△64,637
その他	△96,169	△209,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,491,645	785,765
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,729	△19,338
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	831,632	△1,249,737
現金及び現金同等物の期首残高	8,590,939	11,410,855
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,422,572	10,161,117

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自平成21年9月1日至平成21年11月30日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成22年9月1日至平成22年11月30日）並びに前第3四半期連結累計期間（自平成21年3月1日至平成21年11月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年3月1日至平成22年11月30日）

当社企業グループは主として肉製品及び生肉加工品の製造、販売ならびに生肉の販売という区分に属する事業を行っており、また、市場及び販売方法等についても類似しております。

また、その他の事業については金額が少額のため事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自平成21年9月1日至平成21年11月30日）

	日本 (千円)	アメリカ合衆国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	28,191,998	726,856	28,918,855	—	28,918,855
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	11,705	161,852	173,558	(173,558)	—
計	28,203,704	888,709	29,092,413	(173,558)	28,918,855
営業利益	1,111,921	54,127	1,166,049	(11,832)	1,154,217

当第3四半期連結会計期間（自平成22年9月1日至平成22年11月30日）

	日本 (千円)	アメリカ合衆国 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	31,915,797	570,783	—	32,486,581	—	32,486,581
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	403,146	—	403,146	(403,146)	—
計	31,915,797	973,929	—	32,889,727	(403,146)	32,486,581
営業利益又は営業損失(△)	1,067,011	8,522	△1,580	1,073,952	(8,591)	1,065,361

(注) その他の区分に属する主な国又は地域は韓国であります。

前第3四半期連結累計期間（自平成21年3月1日至平成21年11月30日）

	日本 (千円)	アメリカ合衆国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	85,699,316	2,289,277	87,988,594	—	87,988,594
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	27,248	568,211	595,460	(595,460)	—
計	85,726,565	2,857,488	88,584,054	(595,460)	87,988,594
営業利益	3,789,688	308,820	4,098,509	(9,957)	4,088,551

(注) 会計処理基準に関する事項の変更
(棚卸資産の評価に関する会計基準の適用)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」の「3 会計処理基準に関する事項の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から評価基準については、原価法または低価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の「日本」の営業利益が62,480千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

	日本 (千円)	アメリカ 合衆国(千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	93,723,577	1,582,994	—	95,306,571	—	95,306,571
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,970	1,025,263	—	1,031,233	(1,031,233)	—
計	93,729,547	2,608,257	—	96,337,805	(1,031,233)	95,306,571
営業利益又は営業損失(△)	3,055,327	77,302	△2,912	3,129,716	(26,791)	3,102,924

(注) その他の区分に属する主な国又は地域は韓国であります。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)並びに前第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。